



「呉を再び軍事都市にするな！」4・21集会



広島県版

No.359

発行者

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都文京区

湯島2-44 平和と労働会館

広島県本部

〒732-0052 広島市東区光

町2-9-24 ロードビル202

電話 082-263-6499

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。

二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること。

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと

広島中央メーデーに四〇〇人結集

五月一日、国賠同盟の会員はメーデー

のデモ出発地点平和公園噴水前に集合

して小雨が降るなか国会請願署名をお願い

いし、集會会場となるハノーバー庭園ま

でデモ行進、働く者の団結で労働者の大

幅賃上げのたたかいを激励し、岸田政権の

「戦争する国づくり」に反対する怒りの声を大にして訴えました。

メーデー会場でも雨が降りしきる中を署名の協力をお願いし80筆を超える

署名を集めることができました。協力してくださった皆さんに心から感謝。

自治体の権限を国に従属させる危険な地方自治法改定案

「戦争する国づくり」のための悪法を阻止しよう

今国会で「国民の安全に重大な影響

を及ぼす事態」と判断すれば、自治体や

住民の意思を無視して国に従属させる悪

法を成立させようとしています。

自民党政権の「戦争する国づくり」

は、二〇一三年「特定秘密保護法」二〇

一四年「集団的自衛権の容認」二〇一五

年「安保法制」戦争法「二〇一七年「共

謀罪法」二〇二二年「土地利用制限・監

視法」二〇二二年「核共有・敵基地攻撃

能力の保有。

そして、安保3文書で専守防衛を投げ

捨て、先制攻撃を明記し、アメリカの指

揮に入って平時から他国を攻撃する敵基

地攻撃の能力をもつ体制に組み込まれ、

自治体や住民の権限を国に従属させよう

とする「戦争する国づくり」のための地

方自治法改定案を阻止しましょう。

広島での松井市長の教育勸語研修、呉

日鉄跡地軍事拠点化を許さぬ闘いを！



国賠同盟全国大会にむけ

広島県本部の取り組む課題

六月一九日〜二〇日に開かれる全国大会成功にむけ全国及び県本部の課題のとりくみ

一つは、五月一五日実施の国会請願への署名です。現在個人一〇〇筆・団体約五〇を達成しました。手元に署名があれば至急届けてください。一五日国会請願に持ってゆきます。

二つには、会費徴収の取り組みです。会費は健全な活動の基盤となるものです。

役員が徴収にとりくむとともに、機関紙「不屈」五月号・六月号に、「払込振込票」を同封して納入をお願いします。出費多難な事と思えますがご協力・ご支援をよろしくお願いします。

三つには、新しい会員を迎える会員拡大です。九条改憲・核共有・敵基地攻撃・大軍拡・・・と「新しい戦前」という言葉が日常的に話される危険な動きになってきています。「戦争する国づくり」をストップさせるためにも、戦争と暗黒政治に反対する国賠同盟の会員拡大が急務です。

県本部は、県本部創立三〇周年時一八七名会員をめざし二〇名を目標に頑張っています。新しい会員を迎えるために頑張ります。

四つには、活動の基本は支部活動。県内の各地域で支部建設の具体化に取り組んでゆきます。

皆さん！頑張ります。

【治安維持法犠牲者】

「広島版 闘いの群像」

・第三次弾圧 三・五事件・

一九三二年（昭和七年）三月五日、広島県内全域で共産党、共青、全協、赤色救援会関係者三〇四名があつせいに検挙され、二七名が起訴。今回から三・五事件犠牲者を顕彰します。

古末憲一

呉市出身。呉一中から東大に、新人会加入。「無産青年新聞」の組織部長として京浜地区で活動中検挙、不起訴となり呉に帰省。

一九三一年呉工廠整理「反対闘争を組織。検挙をのがれて広島に、全協いっせい検挙五・四事件でつづれた組織再建活動。

一九三一年七月広島県最初の共産黨員組常次郎と寺尾一幹、松本武司の四人で日本共産党中国地方委員会準備会を結成。九月末広島市宇品の畑の中で中国委員会発足（翌年二月広島地方委員会と改称）し、古末〓広島市、岨〓呉市、松本〓国鉄、寺尾〓機関紙の任務分担を決めて活動。古末は中国地方委員会の責任者。

一九三二年三月広島市千田町で検挙され五年の刑。一九三八年五月満期出獄後上京。

戦後、一九五三年〜五五年国民救援会本部事務局長。一九六七年・一九七一年の2期埼玉県知須市の市会議員となる。

広島市中区小網町に建立されている「無名戦士の碑」の『解放運動 無名戦士の碑』碑文字は古末憲一が揮毫したものである。

一九六七年六月死亡。享年六七才。

松本武司

安芸郡海田市町出身。広島操車場勤務。

一九三二年七月日本共産党中国地方委員会準備会を岨、古末、寺尾と結成。国鉄オルグとして活動。一九三二年三月五日「三・五事件」で検挙。一九三八年一〇月死亡。

松本 徹

一九三一年九月、日本共産党中国地方委員会―広島県委員会の街頭細胞の任務。

一九三二年「三・五事件」で起訴される。

前田文二(村上)

広島市荒神町出身。一九三二年二月全協広島地区協議会結成にあたり食料労働組合を担当、広島専売局女行員上野良子ら九名と専売分局を確立。一九三一年「全協いっせい五・四事件」で検挙され逮捕。日本共産党広島地区委員会の結成に参加し中国への侵略戦争に反対するたかいに全力をあげ、共青、全協、党による青年行動隊を組織し「満州出兵反対」などピラを市内に一〇回にわたり配布。前田は第五師団出兵に際しては出征兵士の隊列にピラを投げ入れタクシーからまくなど大胆な活動を行う。

一九三二年「三・五事件」で検挙、四月二一日海田市署を脱走、五月八日再逮捕。

一九三三年九月公判 三年の刑。

(三・五事件の犠牲者 次号につづく)